

その他にもいろいろありました…

◆幹線道路ネットワークの整備

熊本都市圏連絡道路

「熊本県新広域道路交通計画（R3.6）」において掲げた「10分・20分構想」の早期実現に向けて取り組むため「熊本都市圏3連絡道路建設促進協議会」を設立。
また、10月に開催した「第5回熊本都市道路ネットワーク検討会（国、県、熊本市、学識、経済界）」において、概略ルート（案）等の検討を地域との合意形成を図りながら進める準備に入ることを共有。



有明海沿岸道路



三池港IC連絡路の着工式が、1月22日に荒尾市で開催。同道路では県内初の工事着手。

中九州横断道路



本年4月に新規事業化された大津熊本道路（大津西～合志）（4.7km）の中心杭打ち式が、10月22日に大津町で開催。また12月11日には、竹田阿蘇道路（約22.5km）の着工式が開催。

熊本天草幹線道路



令和5年2月25日の開通を予定している本渡道路では、5月に橋桁が1本につながり、10月には橋の名称を「天草未来大橋」に決定。また、2月12日には、宇土三角道路の中心杭打ち式が宇城市三角町で開催。



九州中央自動車道



本年4月に新規事業化された矢部清和道路（約10.3km）の中心杭打ち式が、12月10日に山都町で開催。

◆TSMC進出を契機とした熊本都市圏北部の道路ネットワークの強化

セミコンテクノパークなど熊本都市圏北部における渋滞及び交通アクセス対策に着手

TSMCが県内に進出することに伴う新たな交通需要に対応するため、以下の3路線に優先的に着手することとしました。

- ①（主）大津植木線の多車線化【概略設計】
- ②合志ICアクセス道路【概略設計】
- ③国道387号（須屋付近）【道路計画検討】



さてさて来年は…【R5年（2023年）の主な予定】

●熊本天草幹線道路 本渡道路【天草市】	延長1.3km	R5春頃供用予定
●（主）人吉水俣線（西瀬橋）【人吉市】	延長0.43km	R5春頃供用予定
●（主）熊本高森線 4車線化【益城町】	延長約1.0km	R5春頃供用予定
●（一）河陰阿蘇線（黒川工区）【南阿蘇村】	延長1.8km	R5春頃供用予定
●（一）柿原入佐線（下名連石工区）【山都町】	延長0.2km	R5秋頃供用予定
●（主）錦湯前線（下村工区）【湯前町】	延長0.26km	R5秋頃供用予定

熊本県 道路かわら版 2022

※対象期間：2022年1月～12月

球磨川流域橋梁（坂本橋・鎌瀬橋・大瀬橋・松本橋・沖鶴橋）着工式典



12月4日、令和2年7月豪雨により流失した橋梁のうち、坂本橋、鎌瀬橋、大瀬橋、松本橋、沖鶴橋の5橋について着工式が行われ、本格的な復旧に着手しました。豪雨災害からの創造的復旧・復興が着実に前進しています！

令和4年（2022年）12月21日
道路整備課・道路保全課・都市計画課

今年の主な出来事・供用箇所 令和4年（2022年）1月～12月

（主）荒尾長洲線「野原バイパス」開通【荒尾市】



（主）荒尾長洲線「野原バイパス」（荒尾市樺～野原）の1.5kmが、10月12日に供用開始しました。本路線の供用により、長洲港～荒尾～南関ICを結ぶ道路網が形成され、安全で円滑な交通の確保、走行時間短縮による産業・経済の活性化に寄与することが期待されます。

凡 例	
高規格幹線道路	高規格道路
供用区間	供用区間
基本計画	整備中区間
調査中区間	調査中区間
一般国道	地域高規格道路候補路線



（一）辛川鹿本線「合志川橋」供用開始【菊池市】



平成24年7月の九州北部豪雨からの創造的復興を目指し架け替えを進めてきた合志川橋が、9月11日に開通しました。新しい合志川橋は、単なる架け替えではなく、下流川で被災した歩道専用のふれあい橋の復旧に代えて、両側に歩道を整備。さらに、橋の前後の交差点についても交差点形状を改良し、利便性や安全性が大きく向上しました。

国道266号（望薩峠拡幅2工区）全線開通【天草市】



国道266号望薩峠拡幅（天草市倉岳町～上天草市龍ヶ岳町）の2工区、2.1kmが6月4日に開通しました。望薩峠区間は、地形が急峻かつ道路幅が狭く、カーブが連続する上島で唯一残る未改良区間となっています。その最大の難所であった望薩峠2工区が開通したことで、物流や医療活動の支援をはじめ、観光振興や日常生活の利便性向上が期待されます。

令和2年7月豪雨からの復旧・復興

西瀬橋など6橋の本格復旧に着手しました！



重機始動の様子



本年7月、球磨川橋梁復旧技術検討会において、流失した10橋梁すべての復旧位置及び橋梁形式が決定し、12月には、坂本橋、鎌瀬橋、大瀬橋、松本橋、沖鶴橋について、着工式が行われました。これにより、先行して工事が進められていた西瀬橋を加えて合計6橋の本格的な復旧工事が始まりました。

（一）南小国上津江線「中原工区」開通【南小国町】



（一）南小国上津江線「中原工区」（南小国町中原）の0.2kmが、6月10日に供用開始しました。唯一未完成であった本区間の供用により、安全で円滑な交通の確保、走行時間短縮による産業の活性化に寄与することが期待されます。

（一）三本松甲佐線「畝野工区」開通【美里町】



（一）三本松甲佐線「畝野工区」の0.8kmが、8月31日に供用開始しました。本区間の供用により、幅員狭小・線形不良が解消され、安全で円滑な交通の確保、走行時間短縮による産業の活性化に寄与することが期待されます。

平成28年熊本地震からの復旧・復興

（主）熊本高森線（（都）益城中央線ほか1線）4車線化事業が着実に進んでいます！



歩道部全体の約3割に当たる延べ約2.3km区間を供用開始しました。電線の地中化や植樹なども併せて実施しており、通学路や緊急輸送道路としての安全性や快適性が向上しています。また、令和5年春頃に予定している熊本市桜木から益城町福富交差点までの約1km区間の完成により、渋滞の緩和が期待されます。